

1 本校の OJT

- OJT により **学校教育目標の具現化を図る**。
- 「**多様で多面的な OJT**」を目指す。
 - ・ **校内研究**としての意図的、計画的な OJT だけでなく、**日常の中の学び合い**も OJT である。 ⇒ 日常の学び合いの意識化
 - ・ 若手の育成だけでなく、**全職員の学び合いが OJT** である。
⇒ 教職員のニーズに応じた学び合いの場の設定 (**メンター研修会**や**校内研修会**)

ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは **研究主任**、**研究副主任**、**メンター研修担当**。
- **職員の学び合い**をコーディネートする。
 - ・ 校内研究の計画・立案をする。(年 2 回の校内授業研究会、一人一授業)
 - ・ 悉皆研修の計画・立案をする。(校内研修会、伝達講習会)
 - ・ メンター研修会の計画・立案をする。

学び合いの意識化

- **毎日が OJT** と意識する。
 - ・ 仕事を進める中で、**互いの持ち味を生かした学び合い**を進める。
(学年・学級経営、学習指導、生徒指導、行事の計画と運営、ICT 活用など)
- 研修や一人一授業後に、**その都度「振り返りシート」**や「**授業の感想メモ**」、「**自評メモ**」などを使って、**短時間で振り返りを行うことができるようにする**。
- **OJT 振り返りシート**を活用し、「**1 年間の OJT を振り返って**」と「**これからの OJT**」について記入することにより、**OJT を意識化するとともに、次年度につながるものとする**。